

再 評 価 調 書

I 事業概要					
事業名	農業農村整備事業（地盤沈下対策事業）				
地区名	鍋田排水地区				
事業箇所	弥富市鍋田町他				
事業のあらまし	<p>本地区は、弥富市の南部に位置し、一級河川^{なべた}鍋田川と二級河川^{いかだ}筏川に挟まれた流域面積 629ha の農業地域である。</p> <p>本地区の排水路は、地盤沈下対策を目的とした事業により、1971 年度から 1996 年度に整備されたが、造成から 30～40 年が経過し、鋼矢板護岸は腐食が進行しており、また、組立水路及び H 鋼アーム護岸は通行車両の増加及び大型化によりパネル部分に変位していることから、現状を放置すれば護岸が倒壊して排水機能が著しく低下し、大雨により周辺の農用地や人家等に湛水被害が発生する恐れが高まっている。</p> <p>このため、排水路を更新し、排水機能を維持することにより湛水被害を防止し、農業経営の安定と県民生活の安全・安心を図ることを目的として、2020 年度から地盤沈下対策事業を実施し、2034 年度に完了する予定である。</p>				
事業目標	<p>【達成（主要）目標】</p> <p>機能維持のため排水路の更新を行い、農用地や人家等の湛水被害を防止する。 （基準雨量：336 mm/3 日、1/20 年確率雨量）</p> <p>【副次目標】</p> <p>—</p>				
計画変更の推移		事前評価時(2019)	再評価時(2025)	変動要因の分析	
	事業期間	2020～2029	2020～2034	地元調整による事業期間の延長	
	事業費（億円）	47.0	63.5		
	経費内訳	工事費	43.1	58.6	資材価格や労務費の増(2019 単価→2025 単価)
		用補費	0.9	0.9	
		その他	3.0	4.0	労務費の増(2019 単価→2025 単価)
事業内容	排水路工 L=8.6km (11 路線)	排水路工 L=8.6km (11 路線)			
II 評価					
① 事業の必要性の変化	1) 必要性の変化	<p>【事前評価時の状況】</p> <p>排水路を現地調査した結果、鋼矢板護岸は腐食による減厚が進み、組立水路及び H 鋼アーム護岸はパネル部分に変位しており、護岸の耐力が限界に達しつつある。現状を放置すれば、護岸の倒壊により排水機能が著しく低下し、周辺の農地や人家等に湛水被害を及ぼす恐れがあることから、早急に本施設を更新し、地域の湛水被害を未然に防止する必要がある。</p> <p>【再評価時の状況】</p> <p>更新済み区間では排水機能が回復しているが、未更新区間の護岸の老朽化は改善されておらず、排水路の更新が必要な状況は継続している。</p> <p>【変動要因の分析】</p> <p>未更新区間の排水路の老朽化は改善されておらず、事業の必要性は依然として高い。</p>			
	判定	B	<p>A：事業着手時に比べ必要性が増大している。</p> <p>B：事業着手時に比べ必要性にほとんど変化がない。</p> <p>C：事業着手時に比べ必要性が著しく低下している。</p>		
		<p>【理由】</p> <p>未更新区間の排水路は鋼矢板護岸の腐食及び組立水路・H 鋼アーム護岸パネル部分の変位が改善されておらず、事業の必要性は事業着手時と同等であるため。</p>			

② 事業の進捗状況及び見込み	1) 進捗状況	<p>【事業計画及び実績】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>2020</th><th>2021</th><th>2022</th><th>2023</th><th>2024</th><th>2025</th><th>2026</th><th>2027</th><th>2028</th><th>2029</th><th>2030</th><th>2031</th><th>2032</th><th>2033</th><th>2034</th><th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">工程区分</td> <td>調査・設計</td> <td>←</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> </tr> <tr> <td>用地補償</td> <td></td><td>←</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> </tr> <tr> <td>工事 ・排水路工</td> <td></td><td></td><td>←</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> </tr> <tr> <td rowspan="3">事業費 (億円)</td> <td>当初計画 ①</td> <td></td><td></td><td>23.5</td><td></td><td></td><td></td><td>23.5</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>47.0</td> </tr> <tr> <td>実績 ②</td> <td></td><td></td><td>9.7</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>9.7</td> </tr> <tr> <td>今回計画 ③</td> <td></td><td></td><td>9.7</td><td></td><td></td><td></td><td>26.9</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>26.9</td><td></td><td></td><td>63.5</td> </tr> </tbody> </table> <p>【進捗率】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="3">これまでの計画に対する達成状況</th> <th colspan="2">全体進捗状況</th> </tr> <tr> <th>計画 【①】</th> <th>実績 【②】</th> <th>達成率(%) 【②÷①】</th> <th>計画 【③】</th> <th>進捗率(%) 【②÷③】</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>延長(km)</td> <td>8.6</td> <td>1.0</td> <td>12%</td> <td>8.6</td> <td>12%</td> </tr> <tr> <td>事業費(億円)</td> <td>47.0</td> <td>9.7</td> <td>21%</td> <td>63.5</td> <td>15%</td> </tr> <tr> <td> 工事費</td> <td>43.1</td> <td>9.4</td> <td>22%</td> <td>58.6</td> <td>16%</td> </tr> <tr> <td> 用補費</td> <td>0.9</td> <td>0.1</td> <td>11%</td> <td>0.9</td> <td>11%</td> </tr> <tr> <td> その他</td> <td>3.0</td> <td>0.2</td> <td>7%</td> <td>4.0</td> <td>5%</td> </tr> </tbody> </table> <p>【施工済みの内容】 排水路 L= 1.0km</p> <p>【事後評価に準ずるフォローアップ】 該当なし。</p>			2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030	2031	2032	2033	2034	合計	工程区分	調査・設計	←																用地補償		←															工事 ・排水路工			←														事業費 (億円)	当初計画 ①			23.5				23.5									47.0	実績 ②			9.7													9.7	今回計画 ③			9.7				26.9						26.9			63.5		これまでの計画に対する達成状況			全体進捗状況		計画 【①】	実績 【②】	達成率(%) 【②÷①】	計画 【③】	進捗率(%) 【②÷③】	延長(km)	8.6	1.0	12%	8.6	12%	事業費(億円)	47.0	9.7	21%	63.5	15%	工事費	43.1	9.4	22%	58.6	16%	用補費	0.9	0.1	11%	0.9	11%	その他	3.0	0.2	7%	4.0	5%
			2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030	2031	2032	2033	2034	合計																																																																																																																																																			
工程区分	調査・設計	←																																																																																																																																																																			
	用地補償		←																																																																																																																																																																		
	工事 ・排水路工			←																																																																																																																																																																	
事業費 (億円)	当初計画 ①			23.5				23.5									47.0																																																																																																																																																				
	実績 ②			9.7													9.7																																																																																																																																																				
	今回計画 ③			9.7				26.9						26.9			63.5																																																																																																																																																				
	これまでの計画に対する達成状況			全体進捗状況																																																																																																																																																																	
	計画 【①】	実績 【②】	達成率(%) 【②÷①】	計画 【③】	進捗率(%) 【②÷③】																																																																																																																																																																
延長(km)	8.6	1.0	12%	8.6	12%																																																																																																																																																																
事業費(億円)	47.0	9.7	21%	63.5	15%																																																																																																																																																																
工事費	43.1	9.4	22%	58.6	16%																																																																																																																																																																
用補費	0.9	0.1	11%	0.9	11%																																																																																																																																																																
その他	3.0	0.2	7%	4.0	5%																																																																																																																																																																
	2) 未着手又は長期化の理由	事業着手前から道路横断部の通行止めを考慮した工区割としていたが、事業着手後に行った工事説明会等において、近隣住民から工事実施に伴う交通規制等に配慮するよう要請があったことから、毎年の施工範囲を限定するなど事業工程の再検討を行ったところ事業期間の延長が必要となった。																																																																																																																																																																			
	3) 今後の事業進捗の見込み	<p>【阻害要因】 なし。</p> <p>【今後の見込み】 事業期間を延長したため、今後、予算確保及び関係者との調整に努めながら事業の進捗を図り、予定工期内の完了を目指す。</p>																																																																																																																																																																			
	判定	<p>B</p> <p>A：これまで事業は順調であり、引き続き計画通り確実な完成が見込まれる。 B：次のいずれか（該当する項目に「○印」を付ける）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・これまで事業は順調である。今後は多少の阻害要因が見込まれるものの、一定の期間等を要すれば、解決できる見通しがあり、ほぼ計画通りの完成が見込まれる。 ○これまで事業長期化していたが、事業期間を延長したことにより、今後は阻害要因がなく、ほぼ計画通りの完成が見込まれる。 ・これまでの事業長期化により、事業期間を延長した。今後も多少の阻害要因が見込まれるが、一定の期間等を要すれば、解決できる見通しがあり、ほぼ計画通りの完成が見込まれる。 <p>C：阻害要因の解決が困難で、現時点では、事業進捗の目処がたたない。</p> <p>【理由】 事業期間を延長し、工程計画を見直したことにより、計画どおりの完成が見込まれるため。</p>																																																																																																																																																																			

③ 事業の 効果の 変化	1) 貨幣価値化可能な効果(費用対効果分析結果)の変化	<p>【貨幣価値化可能な効果(費用対効果)分析の算定基礎となった要因変化の有無】 事業費の増。</p> <p>【貨幣価値化可能な効果(費用対効果)分析結果】</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="2" style="text-align: center;">区 分</th> <th style="text-align: center;">事前評価時 (基準年:2019)</th> <th style="text-align: center;">再評価時 (基準年:2025)</th> <th style="text-align: center;">備 考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3" style="text-align: center;">費用 (億円)</td> <td>当該事業による費用</td> <td style="text-align: center;">29.4</td> <td style="text-align: center;">42.6</td> <td></td> </tr> <tr> <td>その他費用 注)</td> <td style="text-align: center;">36.9</td> <td style="text-align: center;">54.3</td> <td></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">合計 (C)</td> <td style="text-align: center;">66.3</td> <td style="text-align: center;">96.9</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="8" style="text-align: center;">効果 (億円)</td> <td>作物生産効果</td> <td style="text-align: center;">28.1</td> <td style="text-align: center;">43.2</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持管理費節減効果</td> <td style="text-align: center;">△2.2</td> <td style="text-align: center;">△5.1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>災害防止効果(農業関係資産)</td> <td style="text-align: center;">46.1</td> <td style="text-align: center;">77.6</td> <td></td> </tr> <tr> <td>災害防止効果(一般資産)</td> <td style="text-align: center;">13.2</td> <td style="text-align: center;">23.8</td> <td></td> </tr> <tr> <td>災害防止効果(公共資産)</td> <td style="text-align: center;">1.1</td> <td style="text-align: center;">1.7</td> <td></td> </tr> <tr> <td>国産農産物安定供給効果</td> <td style="text-align: center;">3.8</td> <td style="text-align: center;">4.7</td> <td></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">合計 (B)</td> <td style="text-align: center;">90.1</td> <td style="text-align: center;">145.9</td> <td></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">(参考) 算定 要因</td> <td>流域面積 (ha)</td> <td style="text-align: center;">629.0</td> <td style="text-align: center;">629.0</td> <td style="text-align: center;">変動なし</td> </tr> <tr> <td></td> <td>農地面積 (ha)</td> <td style="text-align: center;">475.3</td> <td style="text-align: center;">442.3</td> <td style="text-align: center;">減 33.0</td> </tr> <tr> <td></td> <td>市街地等面積 (ha)</td> <td style="text-align: center;">153.7</td> <td style="text-align: center;">186.7</td> <td style="text-align: center;">増 33.0</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">費用対効果分析結果 (B/C)</td> <td style="text-align: center;">1.4</td> <td style="text-align: center;">1.5</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>※ 金額は、社会的割引率(4%)を現在の価値に換算したもの。 ※ 評価期間: 55年(当該事業の工事期間15年+40年) 注) その他費用の内訳 ①当該施設 再整備費+事業着工時点の資産価格-評価期間終了時点の資産価格 ②当該施設と一体的に効用を発揮する関連施設(排水路及び排水機場) 関連事業費+再整備費+事業着工時点の資産価格-評価期間終了時点の資産価格</p> <p>【貨幣価値化可能な効果(費用対効果)分析手法】 「新たな土地改良の効果算定マニュアル」(2015年9月 農林水産省農村振興局整備部監修)に基づき算定。</p> <p>【変動要因の分析】 事前評価時から大きな変化はない。</p>			区 分		事前評価時 (基準年:2019)	再評価時 (基準年:2025)	備 考	費用 (億円)	当該事業による費用	29.4	42.6		その他費用 注)	36.9	54.3		合計 (C)	66.3	96.9		効果 (億円)	作物生産効果	28.1	43.2		維持管理費節減効果	△2.2	△5.1		災害防止効果(農業関係資産)	46.1	77.6		災害防止効果(一般資産)	13.2	23.8		災害防止効果(公共資産)	1.1	1.7		国産農産物安定供給効果	3.8	4.7		合計 (B)	90.1	145.9		(参考) 算定 要因	流域面積 (ha)	629.0	629.0	変動なし		農地面積 (ha)	475.3	442.3	減 33.0		市街地等面積 (ha)	153.7	186.7	増 33.0	費用対効果分析結果 (B/C)		1.4	1.5	
	区 分		事前評価時 (基準年:2019)	再評価時 (基準年:2025)	備 考																																																																		
	費用 (億円)	当該事業による費用	29.4	42.6																																																																			
その他費用 注)		36.9	54.3																																																																				
合計 (C)		66.3	96.9																																																																				
効果 (億円)	作物生産効果	28.1	43.2																																																																				
	維持管理費節減効果	△2.2	△5.1																																																																				
	災害防止効果(農業関係資産)	46.1	77.6																																																																				
	災害防止効果(一般資産)	13.2	23.8																																																																				
	災害防止効果(公共資産)	1.1	1.7																																																																				
	国産農産物安定供給効果	3.8	4.7																																																																				
	合計 (B)	90.1	145.9																																																																				
	(参考) 算定 要因	流域面積 (ha)	629.0	629.0	変動なし																																																																		
	農地面積 (ha)	475.3	442.3	減 33.0																																																																			
	市街地等面積 (ha)	153.7	186.7	増 33.0																																																																			
費用対効果分析結果 (B/C)		1.4	1.5																																																																				
2) 貨幣価値化困難な効果の変化	<p>【事前評価時の状況】 該当なし。</p> <p>【再評価時の状況】 該当なし。</p> <p>【変動要因の分析】 該当なし。</p>																																																																						
判定	A	<p>A: 前回評価時とほぼ同様の事業効果が発現される見通しがある。 B: 前回評価時と比べ低下が見られるが、十分な事業効果が確保される見通しがある。 C: 前回評価時と比べ著しく低下し、現時点では事業効果が確保される見通しが立たない。</p>																																																																					

	<p>【理由】 事業採択時（2019年度）から引き続き $B/C \geq 1.0$ となっているため。</p>
III 対応方針（案）	
継続	<p>中止：上記①～③の評価で一つでもC判定があるもの。 継続：上記以外のもの。</p>
IV 事後評価実施の有無と主な評価内容	
<p>■対象（事業完了後5年目） <input type="checkbox"/>対象外 【事業完了後5年を越えて実施する理由・対象外の理由】 — 【主な評価内容】 事業後の湛水被害の有無を確認 ※事業完了後5年以内に計画規模と同等の降雨が発生した場合、その降雨により評価する。ただし、事業完了後5年以内に計画規模と同等の降雨が発生しなかった場合は、事業完了後5年間の最大規模の降雨により評価する。</p>	
V 事業評価監視委員会の意見	
鍋田排水地区の対応方針（案）[事業継続]を了承する。	
VI 対応方針	
事業継続	